

招待状文章例について

本状の文章はシーンに合わせて、下記よりお選びいただけます。

人前式や海外挙式など、挙式とご披露宴のスタイルに合わせてお選びください。

■ 招待状文例（文頭が「謹啓」から始まる文章は、文末に「敬具」と入ります）

文例番号

A

両親名義 媒酌人あり

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます

このたび ○○○様ご夫妻のご媒酌により
○○ ○男 ○○ と ○○ ○女 ○○
との婚約相整い結婚式を挙げることになりました
つきましては 幾久しくご懇情を賜りたく
披露かたがた粗宴を差し上げたく存じますので
ご多用中誠に恐縮ではございますが
ご来臨の栄を賜りたく 謹んでご案内申し上げます

文例番号

B

両親名義 媒酌人なし

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます

○○ ○男 ○○ と ○○ ○女 ○○
との婚約相整い結婚式を挙げることになりました
つきましては 幾久しくご懇情をいただきたく
ささやかですが 披露をかねて粗宴をご用意いたしました
ご多用のところ誠に恐縮ではございますが
ぜひご出席くださいますよう ご案内申し上げます

文例番号

C

両親名義 入籍済み

謹啓 ○○の候 皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます

○ ○ ○男 ○ ○
○ ○ ○女 ○ ○
は○年○月○日入籍をすませ
新生活をスタートいたしました
この度 結婚式を挙げることになりました
つきましては幾久しくご懇情を賜りたく
披露かたがた粗宴を差し上げたいと存じます
ご多用中誠に恐縮ではございますが
何卒ご光臨の栄を賜りますよう
ご案内申し上げます

文例番号

D

本人名義 媒酌人あり

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます

このたび ○○○様ご夫妻のご媒酌により
結婚式を挙げることになりました
つきましては 皆様からのお励ましをいただきたく
ささやかな小宴をもうけました
おいそがしい中誠に恐縮ですが
ご出席くださいますよう ご案内申し上げます

文例番号

E

本人名義 媒酌人なし①

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます

このたび 私たちは結婚式を挙げることになりました
つきましては 日頃お世話になっている皆様に
私たちの門出を見守っていただきたく
ささやかですが 小宴をもうけました
おいそがしい中誠に恐縮ですが
ご出席くださいますよう ご案内申し上げます

文例番号

F

本人名義 媒酌人なし②

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のことと謹啓
お慶び申し上げます

このたび 私たちは結婚し 2人で共に歩むことになりました
これまでに皆様がくださった愛と
励ましに心から感謝すると共に
今後とも 未永いお付き合いをお願いいたしたく
ささやかながら 結婚披露宴を行いたいと思ひます
おいそがしいと思ひますが ぜひご出席くださり
歡びを共にしていただければ幸いです

文例番号

G

本人名義 入籍済み

謹啓 ○○の候 皆様にはお健やかにお過ごしのことと
お慶び申し上げます

私たちは○○年○月○日入籍をすませ
新生活をスタートいたしました
この度 結婚式を挙げることになりました
つきましては日頃お世話になり
また親しくお付き合いいただいている皆様とともに
ささやかながら心ばかりの宴をもうけ
門出を記念いたしたいと存じます
ご多用中誠に恐れ入りますが
何卒お越し下さいますようご案内申し上げます

○ ○ ○ ○
○ ○
(旧姓 ○○)

文例番号

L

本人名義 人前式①

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

このたび 私たちは結婚することになりました
皆様の前で結婚の誓いを立てたく思ひ
どうか立会人として私たちを見守ってください
また 披露パーティーにもご参加いただきたく
おいそがしいと思ひますが
ご出席のほどよろしくお願ひ申し上げます

文例番号

M

本人名義 人前式②

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

○年越しの愛を実らせ 2人で力を合わせ
私たちなりの家庭を築いていきたいと思ひます
皆様の立会いのもと 人前式を挙げ
Wedding Partyを催したいと思ひます
ご多用中恐縮ですが ぜひご出席くださいますよう
お願ひ申し上げます

文例番号

N

本人名義 人前式③

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

私たちの誓いをお聞きいただきたく
ささやかなパーティーを開きます
そして 新しい人生の第一歩を
皆様に結婚の証人になっていただき
スタートいたします
楽しい時間をともにできればと思ひます
ぜひご参加ください

文例番号

O

本人名義 人前式④

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

ステキな人生を送るために
二人で航海に出ることにしました
さまざまな波を乗り越え
ふたり力をあわせて難を乗り越えていくつもりです
今後とも 航海の良き寄港地となって下さいますよう
お願ひ申し上げます
どうか私たちの結婚式にご出席下さい

文例番号

H

連名 本人主体 媒酌人あり

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

このたび ○○○様ご夫妻のご媒酌により
結婚式を挙げることになりました
つきましては 皆様からのお励ましをいただきたく
心ばかりの祝宴をご用意いたしました
ぜひご出席くださいますよう ご案内申し上げます

○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○

ご多用のところ誠に恐縮に存じます
若い二人のためにお励ましをいただきたく存じます
ご来臨の栄を賜りたく心よりご案内申し上げます

○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○

文例番号

I

連名 本人主体 媒酌人なし

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

このたび 私たちは結婚式を挙げることになりました
つきましては お世話になっている皆様をお招きして
心ばかりの祝宴をご用意いたしました
ぜひご出席くださいますよう ご案内申し上げます

○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○

ご多用中のところ誠に恐縮に存じます
若い二人のためにお励ましをいただきたく
私どもからもよろしくお願ひ申し上げます

○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○

文例番号

J

連名 両親主体 入籍済み

謹啓 ○○の候 皆様にはますます清祥のこととお慶び申し上げます

○○ ○男 ○○
○○ ○女 ○○

は○年○月○日入籍をすませ
新生活をスタートいたしましたが
この度 結婚式を挙げることになりました
つきましては幾久しくご懇情を賜りたく
披露かたがた粗餐を差し上げたいと存じます
ご多用中誠に恐縮でございますが
何卒ご光臨の栄を賜りますようご案内申し上げます

○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○

私共 この度 ご案内の通り挙式の運びとなりました
これもひとえに皆様方のおかげと心から感謝しております
ご多用中とは思いますが何卒ご出席賜り
私共の新しい出発を見守っていただければ幸いに存じます

○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○
(旧姓 ○○)

文例番号

K

連名 本人主体 入籍済み

謹啓 ○○の候 皆様にはますます清祥のこととお慶び申し上げます

私共は○年○月○日入籍をすませ
新生活をスタートいたしました
この度 結婚式を挙げることになりました
つきましては幾久しくご懇情を賜りたく
披露かたがた粗餐を差し上げたいと存じます
ご多用中誠に恐縮でございますが
何卒ご光臨の栄を賜りますようご案内申し上げます

○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○
(旧姓 ○○)

ご多用とは存じますが ぜひご出席いただき
二人の新しい門出を見守っていただきたく
私共からもよろしく願い申し上げます

○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○

文例番号

P

本人名義 海外挙式

謹啓 ○○の候 皆様には益々清祥のこととお慶び申し上げます

このたび 私たちは○月○日
○○○○○○○○○○○○○○○○において
結婚式を挙げることになりました

帰国後 ご報告をかねて
披露パーティーを催しますので
おいそがしいところ恐縮ではございますが
ぜひお越しくださいませようご案内申し上げます

文例番号

Q

本人名義 郷里 / 海外挙式①

謹啓 ○○の候 皆様には益々清祥のこととお慶び申し上げます

このたび 私たちは○○○○年○月○日
○○○○○○○○において
結婚式を挙げることになりました
お世話になった皆様に

お披露目ならびに末永いお付き合いをお願いいたしたく
結婚披露パーティーを催したいと存じます
おいそがしいとは思いますが
ぜひご臨席いただきたくご案内申し上げます

文例番号

R

本人名義 郷里 / 海外挙式②

謹啓 ○○の候 皆様には益々清祥のこととお慶び申し上げます

このたび 私たち二人は○○○○年○月○日
○○○○○○○○○○において結婚式を挙げ
人生のセカンドステージをスタートいたしました
ご報告をかねて

楽しいパーティーにしたいと思います
ぜひご出席をお願いします

文例番号

V

本人名義 海外挙式

謹啓 ○○の候 皆様には益々清祥のこととお慶び申し上げます

このたび 私たちは結婚することになりました
2人の希望もあり ○○にて挙式を行い
その後ささやかな宴を催したいと存じます
ご多用のところ また遠方からのお越しで
誠に恐縮ではございますが
私たちの新しい門出にお立会いいただきたく
ご案内申し上げます

文例番号

W

本人名義 海外挙式

謹啓 ○○の候 皆様には益々清祥のこととお慶び申し上げます

このたび 私たちは結婚式を挙げることになりました
つきましては ○○教会で挙式後 現地レストランにて
ささやかなパーティを催したいと存じます
ご多用のところ また遠方からのお越しで
誠に恐縮ではございますが
皆様と一緒に楽しめる

アットホームなパーティにしたいと思いますので
ぜひご出席くださいませよう ご案内申し上げます

文例番号

X

本人名義 海外挙式 挙式のみ

謹啓 ○○の候 皆様にはお健やかに
お過ごしのこととお慶び申し上げます

この度 私たちは
結婚式を挙げることになりました
つきましては日頃お世話になり
また親しくお付き合いいただいている皆様とともに
門出を記念いたしたいと存じます
ご多用中誠に恐れ入りますが
何卒お越し下されますよう
ご案内申し上げます

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます

私たちは結婚することになりました
つきましては皆様へのご報告をかねて
披露パーティーを開かせていただきます
ぜひ ご出席いただけませんか？
お待ちしております

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます

来る○月○日私共二人は挙式の運びとなりました
未熟ながら二人の力で新生活のスタートをし
皆様の前での挙式とお互いの友人を招いての
会費制パーティーを開くことにいたしました
出席していただくことが
私たちには最高のプレゼントです
お祝いは皆様の温かいお言葉のみとさせていただきます

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます

このたび ○○さんと○○さんの
結婚披露パーティーを開催します
皆様楽しんでいただけるパーティーにしたいと思い
ぜひご出席いただきたくお願い申し上げます
めでたくゴールインした二人を
みんなで祝いませんか？
お返事お待ちしております

SEASON MESSAGES

時候・季節の挨拶

本状の文頭には「時候の挨拶（謹啓 ○○の候）」または季節にあわせた
やさらかな印象を与える「シーズンメッセージ」をお選びいただけます。

[NOTICE]

特にご指定が無ければ、「時候の挨拶」となります。
シーズンメッセージをご希望の場合は、下記のメッセージ番号を申込書にご記入ください。

文頭に「謹啓 ○○(該当月)の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます」が入ります

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新春	早春	春暖	陽春	若葉	初夏	盛夏	秋暑	初秋	爽秋	季秋	初冬

● シーズンメッセージ..... 時候の挨拶の代わりに、下記の文章が入ります あまり堅苦しくない書き出しをご希望のおふたりに

<p>晴れやかな初春の光を仰ぐ季節を迎え 皆様には いかがお過ごしでしょうか</p> <p>01月</p>	<p>新緑の青葉が美しく輝く季節を迎え 皆様には いかがお過ごしでしょうか</p> <p>05月</p>	<p>涼風 爽やかな季節を迎え 皆様には いかがお過ごしでしょうか</p> <p>09月</p>
<p>梅の花の訪れが待ち遠しい季節となりましたが 皆様には いかがお過ごしでしょうか</p> <p>02月</p>	<p>紫陽花が大輪を咲かせる季節となりましたが 皆様には いかがお過ごしでしょうか</p> <p>06月</p>	<p>爽やかな秋晴れの続く 昨今 皆様には いかがお過ごしでしょうか</p> <p>10月</p>
<p>桃の蕾も膨らみ さららかな季節を迎えましたが 皆様には いかがお過ごしでしょうか</p> <p>03月</p>	<p>涼しげな風鈴の音が聞こえる季節となりましたが 皆様には いかがお過ごしでしょうか</p> <p>07月</p>	<p>銀杏の葉も金色に染まる季節となりましたが 皆様には いかがお過ごしでしょうか</p> <p>11月</p>
<p>春の日差しが心地いい季節となりましたが 皆様には いかがお過ごしでしょうか</p> <p>04月</p>	<p>虫の声も秋に近づいた事を感じる 昨今 皆様には いかがお過ごしでしょうか</p> <p>08月</p>	<p>雪の便りも届く頃となりましたが 皆様には いかがお過ごしでしょうか</p> <p>12月</p>